

SGA 性低身長

SGA とは、small for gestational age の略で、「生まれた週数の割に小さい赤ちゃん」のことです。

未熟児、早産と違った意味で、例えば予定日に生まれ、出生体重が 2500 g を超えていても SGA となる場合があります。この赤ちゃんの多くは生後の栄養などで大きくなり追いつきますが、追いつけず低身長になるお子さんがいます。

成長ホルモンは、分泌不全のお子さんに治療薬として使われ効果が出ていますが、SGA のお子さんで成長ホルモンが効くお子さんがいます。

出生時の身長・体重、現在の伸びや検査を行うことにより、治療適応があるか判断します。治療適応があり、ご希望があれば治療開始となります。

治療は、思春期に背が伸びなくなるまで使います。